前十字靭帯(ACL)再建術パス

病棟　　病室

氏名：　　様

患者さんには、治療計画に基づいた医療を行います。

説明日：

月日	月　日（　）	月　日（　）		月　日（　）	月　日()～月　日()	月　日()～月　日()	月　日()～月　日()
項目	入院：手術前日	手術当日：術前	手術当日：術後	術後1日目	術後2～7日目	術後8～13日目	術後14~15日目
目標	・手術の準備ができる		・術後合併症の所見、症状がない ・痛みのコントロール(対処)ができる ・安静が守られる	・術後合併症の所見、症状がない ・痛みのコントロール(対処)ができる ・関節の動きが改善する		・痛みのコントロールができる ・関節の動きが改善する ・日常生活の注意点がわかる	・創部感染、合併症がない ・日常生活の注意点がわかる
リハビリ	・リハビリ担当医師の診察			・リハビリを開始します	・状態に合わせ、松葉杖での歩行訓練を開始します		・手術した膝の運動や、体重のかけ方について説明します
活動 安静度	・制限はありません	・手術の準備をします	・手術後はベッド上安静です ・看護師が介助し、横向きになれます	・リハビリ以外では、手術をした足に体重をかけず、車椅子へ乗車し、移動します ・車椅子への乗車は、1人で出来るようになるまでは看護師が介助します	 ・装具を装着し、手術をした足に体重をかけずに歩行器や松葉杖で移動します 		
食事	・夕食まで食事ができます。それ以降は禁食です	・飲水は医師の指示に従ってください	・食事はできません ・術後、お腹の動きが確認できたら飲水可能です 	・食事が再開します  			
排泄	・排便確認をし、浣腸をします		・手術後は、尿の管が入っています	・尿の管が抜け、車椅子でトイレに行けます 			
処置	・患者用識別バンドを装着します	・手術着に着替え弾性ストッキングを履きます	・血栓症予防の機械を付けます ・術後1日目まで、足を冷やします	・創部は防水テープを貼っています。消毒は、テープが剥がれたり、出血が多い場合に行います ・傷の近くに入っている管は、術後1日目に抜きます			・診察時に創部のテープを剥がします。創部の状態で退院が決まります
清潔	・シャワー浴 	・シャワー浴は出来ません 		・体拭きを看護師が手伝います ・自分でシャンプーできる方は、シャンプー台をお使いください	・術後3日目～痛みのコントロールができ、ある程度動ければ医師よりシャワー浴の許可が出ます。 創部は、防水テープを貼っています。必要時、シャワー浴前に覆いをします 		
内服	・持参薬の確認をします 	・医師の指示に従って内服します		・通常通りの内服をしてください 			
点滴 痛み止め			・食事がとれないため、点滴をします ・抗生剤の点滴をします ・痛みに対し、坐薬や痛み止めの点滴を使用します	・抗生剤と痛み止めの点滴を朝、夕投与します 	・点滴の針を抜いた後の痛み止めは、内服薬で投与します		
検査				・採血をします 	・採血をします：術後4、7、9日目 ・レントゲン検査：術後7日目  		
説明	・医師が手術の説明を行います ・麻酔科医師の診察があります ・看護師が入院オリエンテーションを行います		・医師が手術後の説明をします ・術後は手術した脚が腫れます。腫れは徐々に引いてきます ・膝を完全に伸ばさないように、ベッド上では膝の下にタオルやクッション等を置いて膝を少し曲げておきましょう 			・退院にむけての説明があります ・退院後の受診について説明があります 	

患者さんの状態に応じて、スケジュール内容が変更になる場合があります。個別の経過はその都度ご説明します

東京女子医科大学附属 足立医療センター　2025年8月　第3版